

## I. 平成23年度フォローアップ結果のポイント

○計画期間：平成21年3月～平成26年3月（5年1月）

### 1. 概況

- ・事業の進捗状況は、総事業79事業のうち、27事業が完了、52事業が実施中となっており、主要事業は概ね順調に進捗している。
- ・主要事業では、大型商業施設、新静岡駅（静岡鉄道）、バスターミナルが集約する中心市街地の核施設である新静岡センターを建替える「鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）」が完了し、平成23年10月に「新静岡セノバ」としてオープンし、広域からの集客効果が見込まれている。
- ・JR静岡駅から中心商店街への玄関口に位置する「静岡駅前紺屋町地区市街地再整備事業」は、平成22年3月に予定通り完了した。
- ・商業施設・事務所・駐車場・住宅を一体で整備する「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業」は、平成23年8月に着工し、当初予定通り平成26年3月の竣工を目指し工事中であり、呉服町の新たなにぎわいの拠点となることが期待される。また、「静岡呉服町第二地区市街地再開発事業」は、平成22年11月に準備組合が設立されている。
- ・「静岡市立病院静岡新館建設工事」は、平成22年2月に竣工し、都市機能の向上が図られた。
- ・「静岡駅前紺屋町地区市街地再整備事業」による再開発ビル内に設置された静岡市美術館が平成22年5月に開館し、新たな集客拠点として、にぎわい創出に寄与している。
- ・これらのハード事業の進捗に加え、イベント等のソフト事業の実施により、まちの魅力を発信するなど、中心市街地の活性化に向けた取組が進められている。

### 2. 目標達成の見通し

| 目標                               | 目標指標            | 基準値             | 目標値             | 最新値                     | 前回の見通し | 今回の見通し |
|----------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------------------|--------|--------|
| 「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち（都市空間の質的改善）    | 歩行者通行量<br>（人）   | 28,232<br>（H19） | 30,500<br>（H25） | 24,790<br>（H23）         | —      | ②      |
| 「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち（集客・交流機能の魅力向上） | 年間小売販売額<br>（億円） | 1,586<br>（H19）  | 1,684<br>（H25）  | 1,515<br>（H23）<br>（推計値） | —      | ②      |
| 「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち（集客・交流機能の魅力向上） | 施設利用者数<br>（万人）  | 168<br>（H19）    | 180<br>（H25）    | 193<br>（H22）            | —      | ①      |

注) ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。

②取組の進捗状況は概ね予定通りだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

③取組の進捗状況は予定通りではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。

④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

⑤取組が実施されていないため、今回は評価対象外。

### 3. 目標達成見通しの理由

基本計画では、①「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち、②「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち、を目標（目指すべきまちの姿）とし、具体的な数値目標として、①歩行者通行量、②年間小売業販売額、③年間施設利用者数、を掲げている。

「歩行者通行量」については、静岡地区中心市街地では静岡パルコが開業した平成19年を除き全体として減少傾向にある。計画掲載事業の進捗状況は概ね予定通りであり、再開発事業等による歩行者通行量の増加効果は現れているが、平成20年秋以降の世界同時不況などの外的要因により、中心市街地をとりまく経済環境は厳しい状況にあるため、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

「年間小売業販売額」については、「静岡駅前紺屋町地区市街地再整備事業」や「鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）」の完了に伴い、中心市街地に新たな来街目的地ができたことで、広域からの集客効果が歩行者通行量などに現れてきているものと推察され、これに伴う年間小売業販売額の増加が見込まれる。また今後は、平成26年3月竣工予定の「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業」などの新規商業施設開業による目標数値の押し上げ要因がある。県内の平成23年末以降個人消費には持ち直しに向けた動きが窺われるものの、外的要因等により消費活動が低迷していることから、このままでは目標の達成は可能と見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

「施設利用者数」については、平成18年から平成19年に減少したものの、平成20年以降は増加傾向にある。今後は、平成22年に開業した静岡市立美術館の集客効果が高く推移していることなどから、目標の達成は可能と見込まれる。

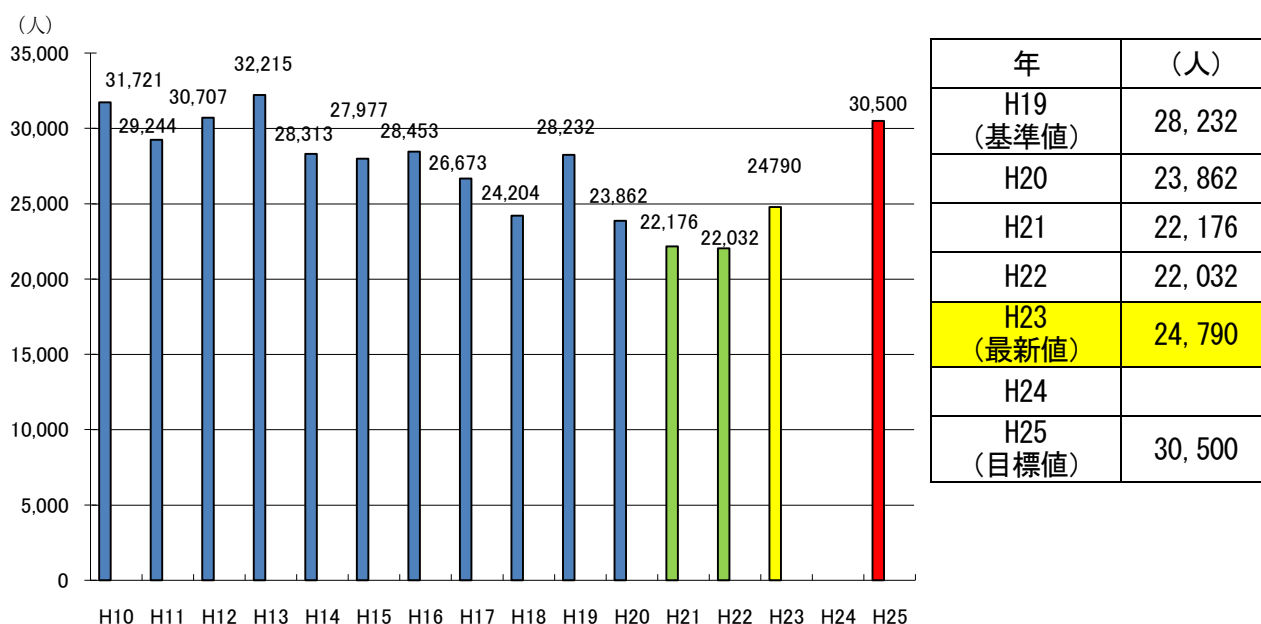
### 4. 今後の対策

今後とも計画掲載事業を着実に実施するとともに、各事業の進捗状況を踏まえ、中心市街地活性化協議会を中心として各事業実施主体の連携を図り、必要に応じた改善策を講じていく。具体的には、ハード面の事業が順調に進捗しているため、再開発事業等の整備と連携したイベント等のソフト事業をさらに拡充により、中心市街地内での回遊性を高め、中心市街地を活性化させるよう努めていく。また、市としてもシティプロモーションを施策の柱の一つとしており、積極的にまちの魅力を発信していくことで、各指標の改善を図っていく。

## Ⅱ. 目標毎のフォローアップ結果「人」が主役の、憩い・くつろぎのまち（都市空間の質的改善）」

### 「歩行者通行量」※目標設定の考え方基本計画 P71 参照

#### 1. 調査結果の推移



※調査方法：歩行者通行量調査

※調査月：平成 23 年 11 月実施、平成 24 年 1 月取りまとめ

※調査主体：静岡商工会議所

※調査対象：歩行者、休日 15 地点（紺屋町、呉服町、伝馬町 3 ブロックの平均値の合計）

#### 2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

##### ①鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）（静岡鉄道株）

|            |  |
|------------|--|
| 事業完了時期     | 【済】平成 23 年 10 月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、鉄道駅、バスターミナルを併設する民間再開発ビルの整備。（延床面積：85,600 m <sup>2</sup> 、構造：鉄骨造、階数：地上 11 階・地下 1 階、用途：店舗（地下 1 階～6 階、10 階～11 階）、駐車場（地上 7 階～9 階、570 台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成 23 年 10 月にオープンし、平成 23 年 11 月の歩行者通行量調査では、本施設に隣接する調査地点が、前年比 25,033 人増（2,362 人→27,395 人）となっており歩行者通行量への効果が現れている。                            |

##### ②静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【済】平成 22 年 3 月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、宴会場、市立美術館、駐車場等を備えた民間再開発ビルの整備。（延床面積：53,254 m <sup>2</sup> 、構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造、階数：地下 2 階・地上 25 階（駐車場 地下 1 階 地上 9 階）、用途：商業施設、業務施設、公共公益施設（美術館）、宴会場、駐車場（約 386 台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成 22 年 3 月に竣工し、平成 22 年 11 月の歩行者通行量調査では、本施設に隣接する調査地点が、前年比 2,777 人増（38,303 人→41,080 人）となっており歩行者通行量への効果が現れている。また、商業・業務・文化機能の向上による広域からの集客が期待される。                                 |

### ③静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町第一地区再開発準備組合）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【未】平成26年3月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備。（延床面積：54,200㎡、構造：鉄筋コンクリート造、階数：地下1階 地上29階、用途：商業施設、業務施設、住宅（281戸）、駐車場（449台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成22年8月に再開発組合が設立。平成23年8月に着工し、平成26年3月の完成に向け順調に工事が進んでいる。完成後は、商業施設の整備や住宅への入居による歩行者通行量の増加が見込まれる。              |

### ④静岡呉服町第二地区市街地再開発事業（呉服町第二地区再開発準備組合）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【未】平成26年3月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備。（延床面積：15,600㎡、構造：鉄筋コンクリート造、階数：地下1階 地上15階、用途：商業施設、業務施設、駐車場（200台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成22年11月に再開発準備組合が新たに設立された。完成後は、商業施設の整備による歩行者通行量の増加が見込まれる。                                     |

## 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

静岡地区における施設整備事業としては、平成22年3月に「静岡駅前紺屋町地区市街地再整備事業」による再開発ビル「葵タワー」が竣工し、平成23年10月には「鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業」による商業施設「新静岡セノバ」がオープンした。「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業」は平成26年3月の竣工を目指し、平成23年8月に建築工事が着工した。

平成21年に静岡市立病院新館建設工事が完了し、医療機能の充実が図られ、中心市街地への来院者の増加が見込まれている。静岡市立美術館整備事業では、静岡市立美術館が平成22年5月に開館し、中心市街地の文化・芸術施設として集客効果が期待される。これら商業・福利・文化施設の整備は順調に進んでいる。

回遊性・交通環境の改善策としては、「静岡駅北口広場整備事業」、「しずマチ地下道内装工事」、「静岡都心公共サイン設置事業」が平成22年に完了した。「紺屋町地下道リニューアル整備事業」は、当初の平成24年3月完了予定に若干の遅れが生じたものの、平成24年6月に完了見込みであり、概ね順調に進捗している。

歩行者通行量は、基準値（平成19年）の28,232人から減少が続いてきたが、対前年比では、平成20年（▲4,370人、▲15.5%）、平成21年（▲1,686人、▲7.1%）、平成22年（▲144人、▲0.6%）と、減少幅が縮小傾向にあり、平成23年度（2,758人、12.5%）には、増加に転じたところである。

歩行者通行量調査の結果では、再開発事業による「葵タワー」や「新静岡セノバ」周辺の歩行者通行量が増加したなど、施設等の整備事業の効果が十分に現れている。なお、今回の最新値は、平成23年11月のものであることから、「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業」、「静岡呉服町第二地区市街地再開発事業」による歩行者通行量への効果は反映されていない。これら事業の効果が調査結果に反映されるのは平成26年であり、今後これら事業の完了に伴い歩行者通行量の増加が見込まれる。

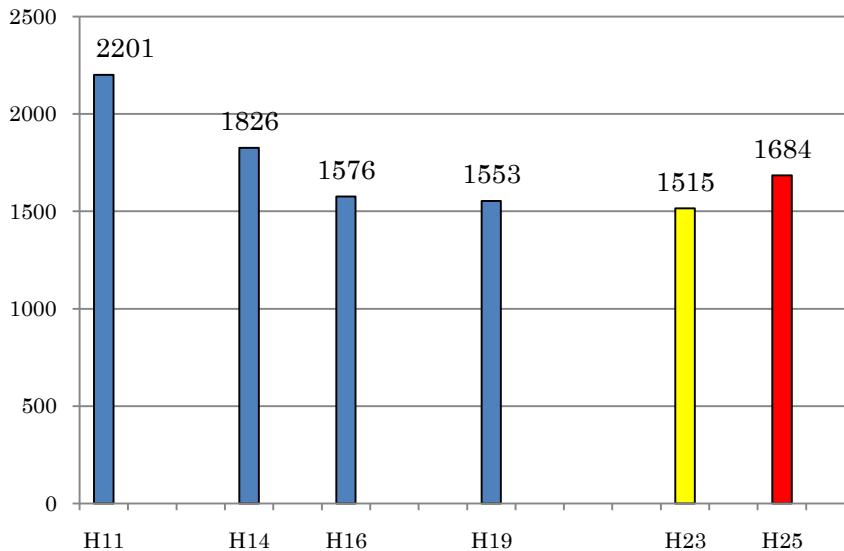
しかしながら、目標指標の達成見通しとしては、経済環境など外的要因による平成20年以降の減少幅が大きく、回復に時間を要していることから、目標の達成は可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。今後は、中心市街地全体でのイルミネーション事業や、駐車場案内システム等のソフト事業の拡充により、指標の改善を図り、目標の達成に努めていく。

### Ⅲ. 目標毎のフォローアップ結果「人」が集まる、魅力・にぎわいのまち（集客・交流機能の魅力向上）」

「年間小売業販売額」※目標設定の考え方基本計画 P71 参照

#### 1-1. 調査結果の推移

(億円)



| 年            | (億円)  |
|--------------|-------|
| H19<br>(基準値) | 1,553 |
| H20          | —     |
| H21          | —     |
| H22          | —     |
| H23<br>(推計値) | 1,515 |
| H24          | —     |
| H25<br>(目標値) | 1,684 |

※調査方法：平成 19 年商業統計調査の結果に、平成 23 年歩行者通行量・お買物調査の結果を加味して推計。

※調査月：商業統計調査は平成 19 年 6 月時点、歩行者通行量調査は平成 23 年 11 月調査

※調査主体：経済産業省調査及び静岡商工会議所調査より静岡市推計

※調査対象：商業統計調査は中心市街地の小売業者、歩行者通行量は歩行者

#### 2-1. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

##### ①鷹匠 1-14 地区優良建築物等整備事業（新静岡センター建替え事業）（静岡鉄道株）

|            |  |
|------------|--|
| 事業完了時期     | 【済】平成 23 年 10 月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、鉄道駅、バスターミナルを併設する民間再開発ビルの整備。（延床面積：85,600 m <sup>2</sup> 、構造：鉄骨造、階数：地上 11 階・地下 1 階、用途：店舗（地下 1 階～6 階、10 階～11 階）、駐車場（地上 7 階～9 階、570 台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成 23 年 10 月に開業し、歩行者通行量への効果が現れており、集客の核の整備に伴う来街者の増加による小売販売額の増加が見込まれる。また、新たな商業床の増加によつての小売販売額の増加も見込まれる。                                       |

##### ②静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業（静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合）

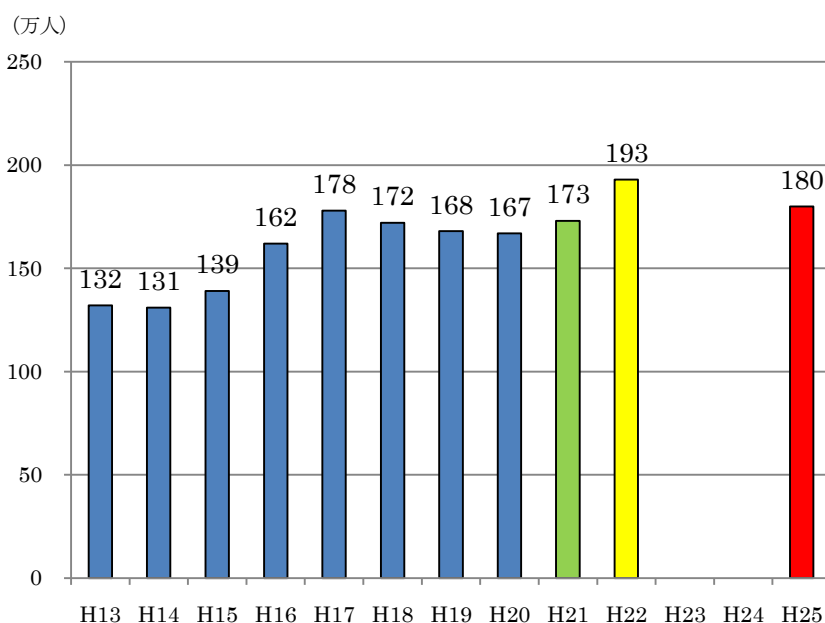
|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【済】平成 22 年 3 月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、宴会場、市立美術館、駐車場等を備えた民間再開発ビルの整備。（延床面積：53,254 m <sup>2</sup> 、構造：鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造、階数：地下 2 階・地上 25 階（駐車場 地下 1 階 地上 9 階）、用途：商業施設、業務施設、公共公益施設（美術館）、宴会場、駐車場（約 386 台）） |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成 22 年 3 月に竣工し、歩行者通行量への効果が現れており、集客の核の整備に伴う来街者の増加による小売販売額の増加が見込まれる。また、新たな商業床の増加によつての小売販売額の増加も見込まれる。   |

③静岡呉服町第一地区市街地再開発事業（呉服町第一地区再開発準備組合）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【未】平成26年3月  |
| 事業概要       | 大型商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備。（延床面積：54,200㎡、構造：鉄筋コンクリート造、階数：地下1階 地上29階、用途：商業施設、業務施設、住宅（281戸）、駐車場（449台））                             |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成22年8月に再開発組合が設立。平成23年8月に着工し、平成26年3月の完成に向け順調に工事が進んでいる。完成後は、商業施設の整備による来街者の増加や居住人口の増加に伴う小売販売額の増加が見込まれる。また、新たな商業床の増加によっての小売販売額の増加も見込まれる。 |

「年間施設利用者数」※目標設定の考え方基本計画 P71 参照

1-2. 調査結果の推移



| 年            | (万人) |
|--------------|------|
| H19<br>(基準値) | 168  |
| H20          | 167  |
| H21          | 173  |
| H22<br>(最新値) | 193  |
| H23          |      |
| H24          |      |
| H25<br>(目標値) | 180  |

※調査方法：施設利用者数調査（毎年度6月実施）

※調査月：平成23年6月実施、7月取りまとめ

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地内の9施設の利用者

2-2. 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①静岡市美術館整備事業（静岡市）

|            |  |
|------------|--|
| 事業完了時期     | 【済】平成22年5月   |
| 事業概要       | 静岡市美術館の整備。（延床面積：3,393.22㎡、展示室面積 約1,100㎡（展示室1：209.76㎡、展示室2：713.03㎡、展示室3：204.17㎡、エントランスホール：612㎡、多目的室 180㎡、ワークショップ室：92㎡））                             |
| 事業効果又は進捗状況 | 都市型美術館の整備により、平成22年度に295,653人の利用者があり、年間約4万人の利用者であった前身の施設と比べ、施設利用者数での大きな効果があった。また、中心市街地における文化サービス機能の強化や来街目的の多様化などが図られることにより、施設周辺での歩行者通行量の増加効果も現れている。 |

## ②駿府公園再整備事業（静岡市）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【未】平成26年3月  |
| 事業概要       | 駿府公園の坤櫓、芝生広場等の整備。（施行規模：0.9ha）   |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成20年度に富士見芝生広場の整備が完了した。また、坤（ひつじさる）櫓石垣の整備が完了した。平成22年度には坤（ひつじさる）櫓の整備に必要な材木を購入し、平成25年度の完成に向け、順調に進捗している。完成後は、空間快適性の向上、年・文化機能の充実により、施設利用者数の増加が見込まれる。 |

## ③観光バス駐車場整備・運営事業（静岡市）

|            |   |
|------------|---|
| 事業完了時期     | 【実施中】平成20年～   |
| 事業概要       | 観光バス駐車場の整備、運営   |
| 事業効果又は進捗状況 | 平成19年に観光バス駐車場を整備し、平成20年から運営を継続実施中。この事業により、新たな観光ルートの設定が可能になるなど、広域からの来街者の利便性向上が図られ、広域観光拠点の賑わいの向上に資する。 |

### 3. 目標達成の見通し及び今後の対策

年間小売業販売額については、「静岡駅前紺屋町地区市街地再整備事業」や「鷹匠1-14地区優良建築物等整備事業」による商業施設完成の効果として、中心市街地の新たな拠点が整備されたことによる広域からの集客が期待され、平成22年の平成23年の歩行者通行量調査の結果では、それぞれ歩行者通行量の増加が現れており、また、静岡市美術館等の整備により、新たな来街目的ができたことなどにより、来街者の増加に伴う小売販売額への効果が見込まれている。

施設整備等の各事業では順調に進捗しているものの、世界的景気低迷や東北大震災後の消費の冷え込み等の外的要因を受け、目標の達成は可能と見込まれず、さらなる対策を講じることが必要である。

今後は、平成26年3月竣工予定の「静岡呉服町第一地区市街地再開発事業」など、新規商業施設の開業による数値の押し上げ要因があるが、これに加え、個店・商店街・大型店の連携する販売促進事業の実施や、中心市街地全体でのルミネーション事業や、駐車場案内システム等のソフト事業の拡充など、官民一体となって目標の達成に向けた取り組みを進めることで、目標の達成を図る。

年間施設利用者数については、指標の数値の増加に寄与する施設としては、静岡市美術館では平成22年5月に開館以降、企画展など魅力ある催事などにより、施設の利用者数が堅調に推移している。また、駿府公園再整備事業では、坤（ひつじさる）櫓等の整備が順調に進んでおり、平成25年度の整備事業の完了後には、住民や来街者が快適に憩い・集うことのできる公園として、まちなかの活性化に寄与することが期待される。平成20年度から運営を継続実施中の観光バス駐車場整備・運営事業では、観光バス駐車場を整備し、新たな観光ルートの設定が可能になるなど、広域からの来街者の利便性向上が図られることから、施設利用者数の増加効果が見込まれる。

施設利用者数は、基準値（平成19年）の168万人に対して、対前年比では、平成20年（▲1万人、▲0.6%）は微減であったものの、平成21年（173万人、3.0%）、平成22年（193万人、7.2%）は増加となっており、平成21年以降は増加傾向が継続している。

今回の最新値は、駿府公園再整備事業による施設利用者数への効果は反映されていないが、公園整備の完了後には、さらに施設利用者数の増加効果が見込まれることから、目標の達成は可能と見込まれる。